



第 14 回 全日本ロープスキッピング選手権大会概要

全日本ロープスキッピング選手権大会は、日本ロープスキッピング連盟（JRSF）の主催する国内最大のロープスキッピングの大会とし、国際ロープスキッピング連盟（FISAC-IRSF）の定めるルールを基に、アジア・世界選手権大会への代表選考会などを行うと同時に、幅広いロープスキッピングの発展・普及に努める大会とする。なお、第 14 回全日本ロープスキッピング選手権大会は、第 10 回 アジアロープスキッピング選手権大会（2019 年夏開催予定・開催地未定）の代表選手の選考を行う大会とする。

1 大会名

第 14 回 全日本ロープスキッピング選手権大会（略称 14JC）

2 大会日時

平成 30 年 12 月 15 日（土）10:00～ ・ 16 日（日）10:00～17:00（予定）

15 日（土）個人戦計測種目・団体戦計測種目・団体戦フリースタイル

16 日（日）個人戦フリースタイル

3 大会会場

「BumB 東京スポーツ文化館」メインアリーナ

〒136-0081 東京都江東区夢の島 2-1-3

アクセス：東京メトロ有楽町線、JR 京葉線、りんかい線 『新木場駅』下車、徒歩 10 分
都営バス「夢の島」バス停下車、徒歩 5 分

TEL：03-3521-7321

<http://www.ys-tokyobay.co.jp/>

4 主催

日本ロープスキッピング連盟（JRSF）

5 部門

本大会では以下の部門で個人戦は男女別、団体戦は性別を分けずに競技を行う。

年齢は大会当日ではなく、**平成 30 年 12 月 31 日での年齢**とする。

<個人戦>

- 7 歳以下の部 : 2011（平成 23）年 1 月 1 日～2012（平成 24）年 4 月 1 日生まれ
- 8-10 歳の部 : 2008（平成 20）年 1 月 1 日～2010（平成 22）年 12 月 31 日生まれ
- 11-13 歳の部 : 2005（平成 17）年 1 月 1 日～2007（平成 19）年 12 月 31 日生まれ
- 14 歳以上の部 : 2004（平成 16）年以前生まれ

<団体戦>

- 13 歳以下の部 : 2005（平成 17）年 1 月 1 日～2012（平成 24）年 4 月 1 日生まれ
- 14 歳以上の部 : 2004（平成 16）年以前生まれ

※団体戦の年齢区分は、チーム内の最年長選手の年齢により決定する。

例

選手 A：19 歳 選手 B～D：12 歳 …14 歳以上の部

ただし、個人戦総合の人数が 4 人に達しなかった部門は、その部門をなくし、次のように部門を統合して競技を行う。

※個人戦 7 歳以下の部、14 歳以上の部、団体戦の部では、規定の人数に達しなくても別部門との統合は行わない。

- ① 8-10 歳の部が 4 人に達しない場合は、11-13 歳の部と合わせて、8-13 歳の部として競技を行う。
- ② 11-13 歳の部が 4 人に達しない場合は、8-10 歳の部と合わせて、8-13 歳の部として競技を行う。
- ③ 個人戦で、必要に応じて男女の統合も検討

6 団体戦のチーム構成

団体戦に参加する選手は、3~5 人でチームを組み出場することができる。ただし、1 人の選手が 2 つ以上のチームに重複して所属し、団体戦の種目に参加することはできない。

アジア選手権の選考を希望するチームは、4~5 人でチームを組み、年齢区分を考慮しなければならない（詳細は「11 アジアロープスキッピング選手権大会の日本代表選手選考」参照）。

7 競技種目

本大会では以下の個人戦（シングルロープ）5 種目、団体戦 5 種目を開催する。各種目および総合で 1~3 位を表彰する。ただし、個人戦の三重とびについては、10 歳以下の選手は行わない。参加は 1 種目から可能である。

<個人戦>

- ① 30 秒スピード（かけ足とび）
- ② 3 分スピード（かけ足とび）
- ③ フリースタイル
- ④ 30 秒スピード（二重とび）
- ⑤ 三重とび（10 歳以下では行わない）
- ⑥ 個人総合（上記①~③の総合順位、順位の計算方法は「9 総合順位計算方法」参照）

<団体戦>

- ① シングルロープスピードリレー（4 人）
- ② ダブルダッチスピードリレー（4 人）
- ③ シングルロープチームフリースタイル（4 人）
- ④ ダブルダッチシングルフリースタイル（3 人）
- ⑤ ダブルダッチ 30 秒シングルスピード（3 人）
- ⑥ 団体総合（上記①~④の総合順位、順位の計算方法は「9 総合順位計算方法」参照）

8 定員

<個人戦> 各種目 120 名

<団体戦> 計測種目 32 チーム

フリースタイル 20 チーム

※定員になり次第締め切る。ただし、個人戦と団体戦の総数を見て、これより多く受け入れる可能性有。

9 総合順位計算方法

<個人戦>

個人戦の総合順位は、30秒スピード（かけ足とび）の順位、3分スピード（かけ足とび）の順位、フリースタイルの順位×2の合計が小さい選手が上位となるように決定する。順位の合計が同点の場合は、総合得点（以下参照）の高い選手が上位となるように決定する。順位の合計および総合得点が同点の場合は同順位とする。

$$(\text{総合得点}) = (\text{30秒スピード(かけ足とび)の回数} \times 5) + (\text{3分スピード(かけ足とび)の回数}) + (\text{フリースタイルのD+C得点}) \times 2$$

※フリースタイルのDランク、D得点、CランクおよびC得点については、JRSF ホームページのフリースタイルルールブック（9月末頃公開予定）を参照。

<団体戦>

団体戦の総合順位は、シングルロープスピードリレーの順位およびダブルダッチスピードリレーの順位、シングルロープチームフリースタイルの順位、ダブルダッチシングルフリースタイルの順位の合計が小さいチームが上位となるように決定する。

順位の合計が同点の場合、総合得点（以下参照）の高いチームが上位となるように決定する。順位の合計および総合得点が同点の場合は同順位とする。

$$(\text{総合得点}) = (\text{シングルロープスピードリレーの回数}) + (\text{ダブルダッチスピードリレーの回数}) + (\text{シングルロープチームフリースタイルのD+C得点}) + (\text{ダブルダッチシングルフリースタイルのD+C得点})$$

例

<個人戦>

| 選手 | 30秒スピード | | | 3分スピード | | | フリースタイル | | | | 個人総合 | | |
|----|---------|-----|----|--------|-----|----|--------------|--------------|------------------|----|-----------|----------|----------|
| | 回数 | 得点 | 順位 | 回数 | 得点 | 順位 | D得点/ Dランク | C得点/ Cランク | D+C得点/ D+Cランク | 順位 | 順位の 合計 | 最終 順位 | 総合 得点 |
| A | 97 | 485 | 2 | 490 | 490 | 2 | 248/1 | 240/1 | 488/2 | 1 | 6 | 1 | 1951 |
| B | 99 | 495 | 1 | 500 | 500 | 1 | 180/4 | 210/3 | 390/7 | 4 | 10 | 2 | 1775 |
| C | 80 | 400 | 3 | 465 | 465 | 3 | 200/3 | 200/4 | 400/7 | 3 | 12 | 3 | 1665 |
| D | 79 | 395 | 4 | 380 | 380 | 5 | 220/2 | 225/2 | 445/4 | 2 | 13 | 4 | 1665 |
| E | 70 | 350 | 6 | 380 | 380 | 5 | 175/5 | 180/5 | 355/10 | 5 | 21 | 5 | 1440 |
| F | 75 | 375 | 5 | 400 | 400 | 4 | 160/6 | 160/6 | 320/12 | 6 | 21 | 6 | 1415 |

10 参加資格

小学生以上であること。

平成30年度日本ロープスキッピング連盟正会員、非会員とも、全種目に参加することができる。ただし、アジア選手権大会の選考を希望する選手は、会員登録をしておかなければならない。

※会員登録についてはJRSF ホームページ「会員登録」 (http://www.jrsf.jp/?page_id=44) を参照。

11 アジアロープスキッピング選手権大会の日本代表選手選考

第10回アジアロープスキッピング選手権大会は、2019年に開催予定である（開催時期夏、開催地未定）。アジア選手権大会に合わせて、全日本選手権の順位表とは別に選考用の順位表を作成し、それを参考にして日本代表選手を選考する。

＜個人戦総合順位による選考＞

選考用の総合・種目別順位表を作成し、上位から順に、男女それぞれ 3 名を総合、総合で選考された選手を除く各種目上位 2 名を種目別として、アジア選手権大会の個人戦日本代表選手として選考する。

- ① 30 秒スピード（かけ足とび）
- ② 3 分スピード（かけ足とび）
- ③ フリースタイル

※三重とびに関しては総合順位に含まない。全日本選手権での 14 歳以上の部（2004 年以前生まれ）の上位 2 名を選考対象とする。アジア大会では 2005 年以降生まれの部の三重とびの競技は無し。

※種目別の 2 名には、全日本選手権において上記①～③のうちの 1 種目のみ、あるいは 2 種目のみ出場の選手も選考の対象とする。

＜団体戦選考＞

この選考を希望するチームは、以下の 4 種目全てに参加しなければならない。

- ① シングルロープスピードリレー
- ② ダブルダッチスピードリレー
- ③ シングルロープチームフリースタイル
- ④ ダブルダッチシングルフリースタイル

※アジア選手権大会選考希望の男女混合チームは、①～④のすべての種目で、男女それぞれ少なくともひとり出場しなくてはならない。（男女混合チームで、①～④の種目で男子のみ、あるいは女子のみで出場した場合、アジア選手権大会の選考からはずれる。）

● 年齢

アジア大会の 14 歳以下の部に出場する場合、チームの選手全員の年齢が 2019 年末時点で 9～14 歳でなければならない。15 歳以上の部に出場する場合、チームの選手 1 名の年齢が 2019 年末時点で 9 歳以上、かつ残りの全選手が 15 歳以上でなければならない。2 名以上 14 歳以下の選手がいる場合、15 歳以上の部に参加することはできない。また、チームは 4～5 名の選手で構成しなければならない。

※第 10 回アジアロープスキッピング選手権大会ルールブックに準拠。

全日本選手権大会からアジア選手権大会参加時においてチームの選手を変更する場合は、4 名のチーム、5 名のチームとも、1 名の変更まで認められる。4 名のチームに 1 名追加、5 名のチームから 1 名減るという変更も含む。

ただし、変更・追加される選手も 14JC 出場選手であること。

チームの性別（男子・女子・男女混合）が変更される選手変更は認められない。

（例：男子チームで選考後、選手 1 名が女子選手と変更され、男女混合チームとなる、というのは不可）
選考後 3 名以下となったチームは、特別な事情がない限りアジア選手権大会出場は認められない。

※選手の変更については全日本大会実行委員会へ選手変更の理由を添えて連絡し、承認を得ること。



<アジアカップ選考>

全日本選手権大会後公募する。

- チームで応募すること
- 14JC に出場した、2010 年以前生まれ（2019 年 12 月 31 日現在で 9 歳以上）の選手で編成された、8 人以上 16 人以下のチームであること。
- 複数のチームの応募があった場合、ビデオ審査をする。
- 応募やビデオ審査方法の詳細については全日本選手権大会後にお知らせする。

● 注意点

中学生以下（アジア選手権大会出場時）の選手は原則、保護者の付き添いが必要。
ただし、保護者（両親）の許可があれば、両親の代わりに先生やコーチ等が引率することも認める。
その場合の保護者代理人は、大会開始時に 18 歳以上であること。

※初版・2018 年 9 月 6 日版（内容は修正・更新される場合があります。）